

<総合政策部長>

9 月 29 日の感染者は、市内 6 人、県内 155 人、名古屋市 66 人であった。

デルタ株による感染が 8 月に入って爆発的に拡大した第 5 波について、7 日間移動平均で全国は 8 月 25 日、愛知県は名古屋市が 9 月 1 日、一宮市が 9 月 8 日を頂点としてすべてピークアウトしている状況。

9 月 28 日現在の 1 週間あたりの新規報告者数は一宮市、愛知県ともに 15 人以上 25 人未満のステージ 3、名古屋市は 25 人以上のステージ 4 となっている。

全国的に感染者数が減少したことなどを受け、政府は 9 月末までの愛知県を含む 19 都道府県に発令中の緊急事態宣言と、まん延防止等重点措置を全面解除することを決定した。なお、愛知県では宣言の解除に伴い、県の全域を対象に 10 月 1 日から 17 日まで県独自の厳重警戒措置を実施する。

愛知県の厳重警戒措置の対策としては、外出や県をまたぐ移動の注意点が示され、感染防止対策の徹底と 21 時以降の外出自粛が求められている。

大規模商業施設などは 21 時まで営業、飲食店の閉店時間については県の認証制度「あいスタ」の対象店が 21 時まで、酒類の提供は 20 時まで可能。「あいスタ」対象外の店は 20 時閉店で酒類提供は 19 時 30 分まで可能となり、段階的な緩和が実施される。イベントの開催制限等については、10 月 30 日までの経過措置をとるが、「大声なし」と「大声あり」の場合で会場の収容率等に差がある。

<保健所長>

7 月 15 日の週が一週間新規感染者数 8 人と最少、9 月 2 日の週が一週間新規感染者数 574 人と最多だった。それから減少し今週は 1 週間で 58 人、昨日と一昨日は数人であった。7 月 22 日の週から今週までの新規感染者数は 2,406 人だった。4 月 1 日から累計すると 3,455 人、約 38 万人いる一宮市民の 0.9%が 4 月から新型コロナウイルス感染症に感染したことになる。市内における一日の新規感染者数が 100 人を超えたとき、今回の第 5 波はワクチンの効果及び 60 歳未満が多いということで、軽症あるいは無症状の患者が多かったため、自宅療養者が増え、一時最大 450 名にまで上った。その後減少し、昨日は自宅療養者が 59 名となり、市内の病院入院患者は第 5 波で最大 84 名に上るも、9 月 27 日では 35 名まで減少した。

<危機管理課長>

市民への周知として、駅前ビジョンデータの変更、市の各部署における注意喚起のための掲示物の貼り替えを実施する。市の施設やイベントの対応について、県の厳重警戒措置においては、施設の運営上特段の制限がないと考えており、施設については一部を除き通常どおりの開館とする。特別な対応をする一部の施設については、利用者数の制限や部分的な利用中止、開館時間の短縮を行う。イベントについては感染防止対策の徹底が困難なことから 2 つのイベントを中止する。これらに係る報道発表は会議終了後の午後 2 時 30 分を目処に行う。

<市長>

県でも10月17日までは厳重警戒措置を続けるが、心配なのは、日々数人は陽性者が出ている中で緊急事態宣言を解除するという事。意識の緩みに気をつけていただきたい。この3週間の厳重警戒措置期間の途中でも、場合によっては規制強化をするなど、硬直的に考えないで、状況を見ながら対応を考えていきたい。

<副市長>

一宮市は前週比で県内や名古屋市より感染者数に関して良い結果ではないということ、数字を使ってアピールし、緩みが起こらないようにすると良い。

<市民健康部長>

ワクチン接種の状況について、今朝までのVRS記録システムへ入力した人数だが、65歳以上の方は92.0%の方が2回目まで接種を終了している。65歳未満では1回目接種済みが70.2%、2回目まで接種済みが44.5%。65歳未満の1回目接種済み内訳は、60歳から64歳で約87%、50歳代で81%、40歳代で71%、30歳代で64%、20歳代と12歳から19歳がともに60%と、全ての年代で6割の方が1回目の接種を終えたという状況。3回目接種のことについては9月17日に開催された厚生科学審議会のワクチン分科会において、3回目の追加接種を行う必要があり、実施時期は2回目接種完了から概ね8ヶ月以上後とすることが妥当との見解が示された。12月から3回目接種が始まることになる。12月・1月あたりは優先接種だった医療従事者が対象になるので人数も限られるが、1回目・2回目と同様に県が実施主体となって医療従事者への接種を行うのか、それとも今回は医療従事者も市町村で実施となるのか、厚労省からの事務連絡でもまだ分かっていない。今後の情報に十分注意し、関係機関との連絡を密にしながら準備を進めていきたい。

<保健所長>

名古屋医療センターの長谷川委員長から、欧米各国でワクチン接種が日本より早く進んだところでもデルタ株でワクチン2回接種後の感染が一定数出ているとのこと。

ワクチン接種済みだから大丈夫ということでは決してなく、マスク、手洗い、ソーシャルディスタンス、施設においては院内感染対策を今一度改めて実施されたい。医師会長及び病院協会の理事長からは、寒くなると心筋梗塞・脳卒中といった一般の救急患者が増えた時に、コロナの重症病床とどうバランスをとっていくか、医療者側として苦慮しているとのこと。

ブレイクスルー感染という言葉でとんでもないことが起こっているという報道がされているが、そうではない。ファイザー社でもモデルナ社でも、ワクチン2回接種後、2週間以降は発症阻止率あるいは発病阻止率、感染阻止率は85%~95%とされているので、基本の感染対策が大事。80代・90代で入院してみえる方でも感染による重症者や死亡者は出てないということで、ワクチン2回接種はなるべく打った方が良く、県の本部会議でも強調されていた。

<副市長>

ワクチンのブースター接種の準備が選挙と重なる可能性もあるので、他の部を巻き込むにしても早め早めに行動し、オール一宮で3回目接種に準備されたい。

<市長>

学年閉鎖した小学校の対応について、共有していただきたい。

<教育長>

小学校6年生の学年閉鎖に関して、6名の児童の感染があった。希望者39名に抗原検査キットを提供し検査を実施したが陽性は出ず、感染拡大は収束に向かっている。

<市長>

感染ルートについては不明のままか。

<教育長>

接点があったことは、確認している。学校生活の場面で何らか感染の連鎖が起こる模様。引き続き感染対策をしていく必要がある。

<市長>

有益な情報なので、犯人探しや非難、批判をすとかではなく、個人情報に配慮しながら前向きに情報を市内の各学校教育関係者内で共有していただきたい。

さらに、必ず来るといわれている第6波に向けて、発注・購入手続きをはじめ、今のうちにやれることはやって、着実に準備を進めていただきたい。